

はじめに

【教科「情報」4つの観点】

- 問題解決能力の育成の重視
- 情報活用の実践力
- 情報の科学的な理解
- 情報社会に参画する態度

【本校での留意点】

- 身近な学習課題を取り上げる。
- 情報の収集・加工・処理・発信などの実習中心とする。
- 可能な限り、自己評価と相互評価を実施する。
- 情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得させる。
- コンピュータや情報通信ネットワークの特性や仕組みを理解させる。
- 問題解決(自ら問題を見つけて自ら解決する)能力を育成する。
- 情報を主体的に活用しようとする態度を育てる。
- 1年次の実習内容は各論的、2年次の実習は総論的なものとする。

【単位】

2単位 (1年次に1単位、2年次に1単位)の分割履修)

【教科書】

情報A (実教出版)

【副教材】

30時間でマスター OfficeXP (実教出版)

情報A 1単位	学習指導案		明浄学院高等学校 担当者	第1学年 今井 隆史 (野口 仁志)	
単元名	日本語入力とDTPの基礎				
目標	情報を効果的に伝える方法・工夫を学び、適切な判断力や表現力を養う。 また、問題解決の方法の基本的な流れ()も把握する。 さらに、タイピングや基本的なマウス操作のスキル向上も目指す。				
指導計画	第1時	プロのポスター研究 1 ~どんなポスターが目をひく?~ *教室の周囲にポスターが3枚ずつ5つのグループ(A~E)に分けて掲示してある。 *「3枚のポスターが天王寺駅の待合室に貼ってあります。あなたが一番いいなあと思うのは何番ですか。」という課題プリントを配布。 *生徒は各グループに分かれてそのプリントに番号と理由を記入。(問題の明確化・ 情報の収集) *席に戻って、共有フォルダに用意されている各自個別のファイルに入力。(情報のデジタル化・タイピング練習) *DTPソフトとしてのワードの機能のワンポイントレッスン。			日時:2004年6月2日(水)6限目 場所:情報教室 対象クラス:1年7組
	第2時 <small>今回の授業公開</small>	プロのポスター研究 2 ~目をひくポスターの条件は?~ *学年全員(237名)の投票結果の確認。 *それぞれの理由を「何にこだわって3枚を比較したのか」という点でキーワード化。 *同じようなキーワードをグループ化。(情報の整理分析) *「誰に(WHO)・何を(WHAT)・どうして(WHY)・どのように(WHICH&HOW)」の補足。 *今回の実習課題「文化祭のクラス催し物の宣伝ポスター制作」でどんな視点が大事かの明確化と共有。(検討・評価) *次回の準備。			
	第3時	「文化祭のクラス催し物の宣伝ポスター」をつくる準備をしよう *企画シートの作成。 *DTPソフトとしてのワードの機能のワンポイントレッスン。 *ポスターの制作。			
	第4時	ポスターの制作・完成を目指そう			
	第5時	ポスターの手直し・提出(解決案の実施)			
	第6時	ポスターコンテスト(発展) *クラス全員の作品を各自順番に閲覧し、4つぐらいの観点について1~5の数字を評価シートに入力し「いいとこ一言メモ」を入力する。(相互評価) *最後に自分の作品についてのみんなからの「いいとこ一言メモ」を閲覧しながら「自分自身の振り返り」を入力する。(自己評価)			
留意点	*ベスト3の作品は、実際にカラー印刷して文化祭当日掲示する。 *挿入する画像などは著作権の侵害がないように注意する。				